



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより



令和元年12月24日発行 No.10



2学期よく頑張りました

本日24日をもって長かった2学期も終了いたしました。

この2学期は、運動会から始まり、校内マラソン大会・舞鶴市小学生駅伝大会・舞鶴市小学校合同音楽会・各施設との交流・各地域行事への参加など多くの行事を経験してきました。運動会では、子どもたちの元気あふれる演技や競技に一生懸命に挑戦する姿を目にすることができました。また、高学年の子どもが、低学年に優しく教え、とても仲よく遊んでおり、微笑ましく感じる場面にもたくさん出会うことができました。児童会を中心に、様々な行事を成功させる中で、みんなで一つの目標に向かって頑張ることの喜びや大切さも感じられたのではないのでしょうか。子どもたちは行事を通して一步一步成長してきたと思います。さらに成果と反省をふまえてしっかりと歩みを進めたいと思います。

この一年を振り返ってのニュースは

さて、2019年もあと少しで終わろうとしています。今年はどうのような年でしたか。年末には、日本や海外の十大ニュースが各新聞社やテレビなどで取り上げられます。

私の中のトップニュースは、「梅の花のように、ひとりひとりの日本人が明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした日本でありたいという願い」がこめられた新しい時代の令和がスタートしたことです。また、ラグビーをはじめ、各スポーツでの日本人の活躍も嬉しいニュースでした。来年開催の、東京オリンピック・パラリンピックが、楽しみです。色々なニュースがありましたが、どのようなニュースが心に残っているのでしょうか。2019年を振り返り、自分だけの、自分の家だけのニュースを、考えてみるのもいいかもしれませんね。

有意義な冬休みにして下さい

明日から1月6日まで13日間の冬季休業に入りますが、安全で健康な毎日を過ごして有意義な冬休みにしてほしいと思います。また、学校から配布された約束事を必ず守り、家族の一員として、進んでお手伝いをしてほしいと思います。

お手伝いは、食べ終わった食器を運んだり、洗ったりすることでもいいので、自分でできることを決め、誰かのためではなく、自分のためにさせて下さい。

3学期始業式には、全員の元気な顔が揃い、スタートが切れる事を願っています。

また、保護者の皆様・地域の皆様には、本年も本校教育の推進に格別のご支援・ご協力を賜り、無事終えることができましたことに厚くお礼を申し上げます。

今後とも宜しく願い申し上げます。

良いお年をお迎え下さい。

校長 井上 憲 正 教職員一同



人権旬間の取組

11月26日(火)～12月12日(木)の期間を人権旬間として、人権はじめの集会・人権学習・なかよし大縄・児童会の取組・人権まとめの集会等、子どもたちの人権意識を高めるための取組をしました。最終日の人権まとめの集会では、校長先生のお話や、「チャ！レンジぬくもり38秒」「大なわ」など児童会の取組のまとめについて聞きました。人権旬間の取組をふり返ることを通して、お互いの人権を大切にしたいよりよい学校生活や学級をつくっていかうとする意識を高める機会となりました。

これからも自分自身を大切にするとともに、相手の立場に立って考えたりすることや行動したりすることを大切にしていきたいと思います。



人権旬間をふり返って

私は、5年生の人権学習で、自分も相手も大切に断り方というのを学習しました。

これまでは、自分を大切にするという考えはあまりなかったです。けれど、自分のこともしっかり大切にしていきたいと思いました。

断る機会はとても多いので、この学習を生かして、だれもきずつけないようにしていきたいと思います。

児童会からの取組の「チャ！レンジぬくもり38秒」では、友だちが落とした物を拾ってあげるといふ小さなことでも、人権につながっていることが分かりました。だから、小さなことからどんどん積み重ねていきたいです。もう一つの取組は、赤組・白組の班ごとに分かれて行う大なわです。うまくなわがとべない低学年などに高学年がアドバイスや、「どんまい。」「おいしい、おいしい。」という声かけなど、いろいろなやさし言葉が聞こえてきました。その声などを聴くと、自然と私も「落ち着いて。」などのやさしい声かけをすることができました。それで、低学年が安心してとべたとき、私の中で一番うれしかったです。だから、声かけをすると、相手も自分もうれしくなれるので、これからも続けていきたいです。

この人権旬間をふり返ると、人権というものは、自分たちにとってとても大事なものだと思ふことができました。

(5年児童の人権まとめ集会発表より)



計算大会・漢字大会

11月27日に計算大会、12月4日に漢字大会を実施しました。この日までに計算週間・漢字週間を実施し、授業や宿題などで練習してきました。また、「マイスタ」でも自主学習を行い、「計算がさらに速く正確にできるようにになりたい」「漢字がていねいに正しく書けるようになりたい。」など、目標を持ってがんばってきました。一人一人が目標を持って、集中して取り組む時間となりました。



3・4年福祉体験学習

11月21日(木)に「福祉体験学習」の一環として介護老人保健施設「アザレア舞鶴」を訪問し、利用者の方々と交流をしました。

子どもたちは、「吉原ソーラン」と「パプリカ」の踊りを披露して、利用者の方々から大きな拍手をいただきました。

その後、利用者の方々とカーリングゲームや射的ゲームなどを通して、楽しく交流することができました。

最後に、自分たちが牛乳パックと和紙で作った松ぼっくりけん玉をプレゼントして、体験学習を終わりました。

今年も、温かい交流をすることができました。



しめなわ体験教室

12月7日(土)に、吉原子育て支援協議会主催のしめ縄体験教室を、大注連縄会の皆様にご指導いただき実施しました。

子どもたちは3人のグループを作り、協力して3束の稲わらをねじり合わせて縄を編みました。毎年しめなわ体験をしている高学年の子どもたちは、とても手際がよく、低学年の子どもたちも大注連縄会の方や上級生に教わりながら一生懸命に縄を編みました。その縄を、大注連縄会の方にお手伝いいただきて輪にして形を整えました。

その後、紙垂(しで)や紅白の水引で飾り付けて、立派なしめ飾りが完成しました。自分で作ったしめ飾りで新しい年が迎えられます。

これからも、吉原の伝統を受け継ぐこの行事を大切にしていきたいと思えます。お世話になった皆様、ありがとうございました。



1・2年相愛保育園との交流

12月10日(火)に保育園・幼稚園・小学校連携活動で、1・2年生9名が、相愛保育園の年長児と本校の体育館で交流をしました。楽しい交流ができるようにと、事前におもちゃを作ったり、発表の練習をしたりして、こつこつと準備をしてきました。

当日は、あいさつや司会、説明などをがんばることができました。年長児の楽しそうな姿を見て、1・2年生は、お兄さんお姉さんとしての自覚を持つことができました。また、年長児にとっても、お兄さんお姉さんの姿を学ぶよい機会になりました。



年末・年始の「緊急連絡先」のお知らせ (教育委員会より)

12月28日(土)～1月5日(日)の期間を「学校閉鎖日」とさせていただき、市立小・中学校は原則不在になります。

緊急の場合は、下記に連絡してください。状況に応じて学校の先生にお伝えするなどの対応をさせていただきます。

いじめ相談ダイヤル(66-2210)、いじめ相談メール(mai-my-sodan@kyoto-be.ne.jp)は期間中も開設します。ただし、メールの返信は、1月6日(月)以降になります。

ご理解いただきますよう、お願いいたします。

連絡先 : 舞鶴市教育委員会
電話 : 090-2598-2277 (期間中のみの公用携帯電話)
受付日時 : 12/30(月)、12/31(火)、1/2(木)、1/3(金)
午前8時30分～午後5時00分まで
※土・日・祝日を除きます。